

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) カリキュラム論	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者	当該科目における実務経験
		鈴木 崇弘	
		柳田 真理子	保育士
授業の回数 12 回	時間数 (単位数) 24 時間 (2 単位)	幼稚園教諭専攻科 前期	必修・選択 必修
[科目概要・到達目標] ・乳幼児期における長期的見通し、保育担当者の共通認識、指導計画の重要性と計画の作成法を扱う。また、「計画・じっせん・反省・計画の改善」の関連性についての事例を理解すると共に、保育の省察から子ども理解と保育の見直しについてほりさげ、一人ひとりに即した保育の実践能力を培う。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1・幼児教育における計画の重要性を理解する。 (「カリキュラム」「教育課程」の意味することを理解する) 2・幼児期の学習の特質を理解する (遊び、生活を通しての学びと系統的な学習の違いと関連を理解する) 3・経験カリキュラムと系統的カリキュラム (カリキュラムにおける系統性と子どもの経験との関連を理解する) 4・幼稚園における教育課程の意義と編成の基本理解 (教育課程に関する法律と教育課程編成の仕方を理解する) 5・教育課程の編成の実際 (教育課程の編成の手順、形式、記入内容について事例を通して理解する) 6・教育課程と指導計画の関係 (指導計画の必要瀬尾・教育課程から指導計画をどのように作成するかを理解する) 7・幼稚園における長期指導計画 (幼稚園における年間、期間、月の計画の目的内容を理解し、事例を参考に作成) 8・幼稚園における短期指導計画 (幼稚園における週案、週日案、日案と内容を理解し、事例を参考に作成) 9・指導計画と保育実践 (これまで学んだ指導計画作成上の配慮点から、計画を実践に移す際の配慮点をまとめる) 10・保育の記録と反省・評価 (保育における記録の重要性と記録に仕方、計画―実践―反省―計画の関係性を事例を通して学ぶ) 11・保育の評価と計画の改善、カリキュラムマネジメントの意義と実際 (長期・短期計画について、計画がどのように実践されたか、そこから次の計画をどう修正するか、事例を通して学ぶ。カリキュラム・マネジメントの意義と幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園のカリキュラム・マネジメントの実際を学ぶ。 12・小学校との連携 (指導要録等、幼児施設と小学校の連携に関する作成のあり方や方法を事例を通して学ぶ)			
[使用テキスト] ・「乳幼児教育・保育シリーズ 教育課程論」 (北大路出版) [参考文献] ・「教育課程・保育課程論」 (東京書籍) ・幼稚園教育要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) ・保育所保育指針 (平成 29 年 3 月告示 厚生労働省・日本保育協会)			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%)			

--